ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
E132H003	理科授業研究（中等） I (Studies in Teaching of Science I (Junior High School))		対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択	2	3	教育学部 ≪令和２年度以降入学生用≫	前	金4	日本語		単独

担当教員	氏名　三次　徳二 E-mail　tokuji@oita-u.ac.jp　内線　7723
授業の概要	他の教科と理科が大きく異なる点として、観察、実験という授業方法をとる事が挙げられる。中・高等学校理科の指導法のうち、特に観察、実験の指導について受講生とともに考えて行く。

具体的な到達目標		DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	理科の授業における観察、実験の位置づけについて理解できる。		○						
目標2	生徒が探究的に観察、実験を行うための授業方法について、具体的な学習内容に則して考えることができる。		○					○	
目標3									
目標4									
目標5									
目標6									
目標7									
目標8									
目標9									
目標10									
	各DPへの関連度（計10）		8					2	

授業の内容

1	理科における観察、実験の位置づけ
2	生徒実験と演示実験
3	実験の注意事項、事故の防止
4	理科における問題解決の過程の分析（中学校第１分野の実験を中心に）
5	理科における問題解決の過程の分析（中学校第２分野の観察を中心に）
6	理科における問題解決の過程の分析（高等学校化学基礎の実験を中心に）
7	理科における問題解決の過程の分析（高等学校地学基礎の観察を中心に）
8	単元の指導計画の作成方法、評価の方法
9	指導教諭による授業の分析
10	探究的な学びを意識した授業の技術
11	受講生による授業計画の発表および模擬授業（中学校第１分野を中心に）
12	受講生による授業計画の発表および模擬授業（中学校第２分野を中心に）
13	受講生による授業計画の発表および模擬授業（高等学校物理基礎・化学基礎を中心に）
14	受講生による授業計画の発表および模擬授業（高等学校生物基礎・地学基礎を中心に）
15	授業のまとめ

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認	○	観察，実験，発表，模擬授業	
B:意見の表現・交換	○		
C:応用志向			
D:知識の活用・創造	○		

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	実験手順の確認（15h），指導計画の作成(15h)，模擬授業の準備(10h)
	事後学修	まとめレポートの作成（5h）
	想定時間合計	45

教科書	中学校学習指導要領解説（理科編）文部科学省編，学校図書，2018年978-4-7625-0613-0 高等学校学習指導要領解説（理科編・理数編）文部科学省編，実教出版，2019年978-4-407-34873-6
参考書	大分県内の中・高等学校で使用される理科教科書

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	60%	○	○								
	模擬授業	40%	○	○								

注意事項	
備考	※この科目は『地域創生教育科目』です。
リンク	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	高等学校の教員
実務経験をいかした教育内容	観察，実験を含む授業の注意事項について講義する